



経済産業省

「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」
2026年度運用開始に向けた事前準備を

SECURITY
UPDATE
DAY

セキュリティセミナー サイバーセキュリティ 対策ソリューション展示

日程： 2026. **7.10** (金)

時間： **14:00 - 15:40**

会場： アイメッセ山梨大会議室(4F)
甲府市大津町2192-8

参加無料

定員：**50**名

🕒 スケジュール

時間	講師
14:00 - 14:05	オープニング
14:05 - 14:35	山梨県警察本部 サイバー犯罪対策課
14:35 - 15:15	トレントマイクロ株式会社 パートナービジネス本部 大原 秀和
15:15 - 15:40	リコージャパン株式会社 山梨支社ソリューション営業部
15:40 -	展示(実機体験) セミナー会場にて

サプライチェーンを通じた



被害の拡大が増加

これまで、サプライチェーン攻撃といえば主に自動車関連や製造業というイメージでしたが、企業や業界を超えたシステムの連携や、サプライチェーンの複雑化が進む中で、**業種を問わず、中小企業を含むサプライチェーン全体のセキュリティ対策の強化**が急務となっています。

2026年度スタート予定

セキュリティ対策評価制度とは？(セキュリティ格付け制度)

■ セキュリティ対策評価制度とは？

取引先間がお互いのセキュリティ対策の状況を客観的に評価し合える制度のこと。

サプライチェーン全体のセキュリティ強化を目的とした、企業のセキュリティ対策の成熟度を可視化する仕組みです。

2024年、経済産業省の産業サイバーセキュリティ研究会で、この制度の構想が提案。

「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に関するサブワーキンググループ」が設置され、

現在、**2026年度中の運用開始を目指し、検討が進んでいます。**(実証事業や制度運営基盤の整備、利用促進の施策など)

サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度構築に向けた中間取りまとめ | 経済産業省

<https://www.meti.go.jp/press/2025/04/20250414002/20250414002.html>

■ セキュリティ対策評価制度構築の背景と目的



制度構築の背景には**サプライチェーン経由の企業の情報漏えいや事業継続に関わるインシデントの多発**があります。企業がサイバー攻撃から身を守るためには、自社だけではなく、サプライチェーンを構築する多数の取引先のセキュリティ対策についても確認する必要性が高まっています。一方で、大手企業や政府機関等のサプライチェーンに含まれる中小企業にとっては、**取引先から、対策状況の提示や、強化を要請された際に、回答や対処が難しい**という課題もあります。

企業間で互いのセキュリティ対策状況を客観的な指標で確認できる仕組みを構築するため、

セキュリティ対策評価制度の構築はスタートしました。企業間での対策状況の共有や、

適切な対策の実施を促すことで、サプライチェーン全体の対策水準を向上することを目指しています。

■ セキュリティ対策評価制度を活用すべき会社は？

経済産業省のワーキンググループは、2025年4月に発表した中間とりまとめで、以下の業界において、次のようなニーズが高いという理由から、優先的に制度活用を推進していくと発表しています。

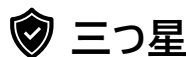
サプライチェーン発注側
政府機関/大手製造業等

多様な業界から
業務を受ける中間層
製品・部品製造業等

サプライチェーンを
下支えするエンド層
B to Bビジネスに従事する
中小企業全般

■ セキュリティ対策評価制度の内容

中間とりまとめによると、セキュリティ対策評価制度は、★1、★2はセキュリティアクションで設定されており、サプライチェーンにおける重要性や影響度に応じて、企業のセキュリティ対策のレベルを★3、★4、★5の3段階で評価します。



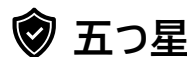
最低限の

サイバー攻撃への備え



標準的な

サイバー攻撃への備え



サイバー攻撃への

備えの到達点



各社のセキュリティ対策レベルが視覚化されます！



目指すセキュリティ対策のレベルを選択して対応していくことが重要です

セキュリティ対策評価制度は、サプライチェーン全体の安全性向上に寄与するだけでなく、**自社のセキュリティ課題を見直す絶好の機会**となります。
取り組みには一定の時間やコストが発生することもあります、
制度施行前から準備を進めておくことで、認定制度の効果的な活用や
ビジネス拡大につながるチャンスを広げることができます。
信頼される企業として選ばれ続けるために、ぜひこの機会に、早めの対策をご検討ください。

▼こんな方におすすめ！

- ・「セキュリティ対策評価制度」について基礎から知りたい方
- ・制度施行に向けて、何から準備すべきか整理したい方
- ・今後の取引や審査に向けて、自社のセキュリティ対策に不安がある方



セキュリティセミナー 各セッションのご紹介



サイバー犯罪、攻撃対策
～民間事業者における自主的な被害防止について～

山梨県警察本部
サイバー犯罪対策課



SCS評価制度対応に向けて
～必要となる最新セキュリティ対策とは～

トレントマイクロ株式会社
パートナービジネス本部
大原 秀和

2026年度中の運用開始が予定されている「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度(通称:SCS評価制度)」制度のスタートにあたり、制度の概要や事業者として求められる対応について、セキュリティ対策の仕組みとあわせてわかりやすくご紹介いたします。

サイバー攻撃の多様化により、一つの対策では防ぎきれない現実があるなか、被害リスクを最小限に抑えるために、自社には何が必要で、何が不足しているのか把握できていますか。

本セミナーでは最新のセキュリティ動向の情報や、セキュリティ対策を検討しているものの、「どこから、何を、どう進めればよいか」で悩まれている方に、着手すべきポイントも解説いたします。



**多層防御による被害最小化のための
効果的なセキュリティ対策**

リコージャパン株式会社
山梨支社
ソリューション営業部

リコージャパンがお勧めする「多層防御セキュリティソリューション(セキュリティ6兄弟)」をわかりやすくご紹介いたします。
さらに、セキュリティ対策評価制度への取り組みを、お客様に寄り添った“伴走型支援”でしっかりサポートいたします。



展示(実機体験)

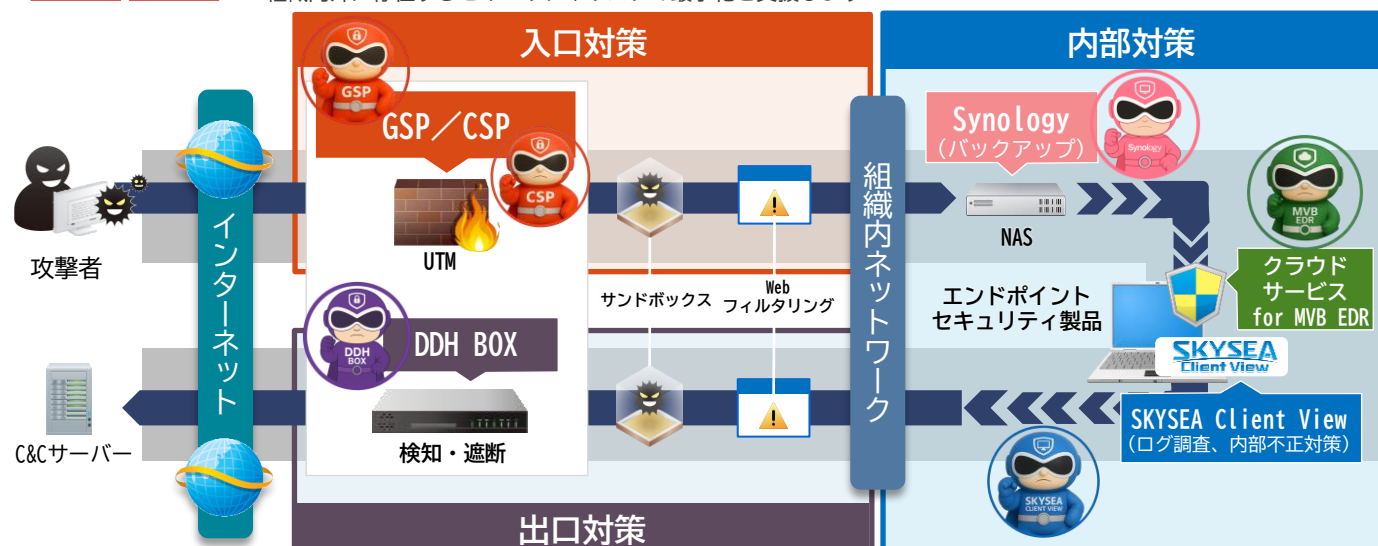
最新の「多層防御セキュリティ」を“見て・触れて・体感できる”実機展示コーナーをご用意しています。

セミナー会場
(大会議室4F)

同時 展示

組織内外に存在するセキュリティ脅威への対策を セキュリティ6兄弟の多層防御で支援！

セキュリティ6兄弟では、段階的な防御でサイバー攻撃や内部不正など、組織内外に存在するセキュリティリスクの最小化を支援します



入口 GSP(ゲートウェイセキュリティパック)/CSP(サイバーセキュリティパック)

社外ネットワークと社内ネットワークの境界における通信を制御・監視

内部 Synology(NAS)

バックアップを取得し、万が一ウイルス感染した際も重要なデータを守る

内部 クラウドサービス for MVB EDR

多様化するウイルスやスパイウェアの侵入から「防御」

内部 SKYSEA Client View

ウイルス感染した際の調査のためのログ取得、内部不正対策

出口 DDH BOX

マルウェア等の攻撃による情報流出を自動ブロック

会場へのアクセス



お申込み方法

イベントはオンラインサイトからの事前申込制となります。
お早目のご予約をお願いいたします。

お申込みはこちら

https://www.ricoh.co.jp/sales/branch/yamanashi/news/security-update-day_20260710/

RICOH
imagine. change.

リコー イベント 山梨 検索



こちらのQRコードを読み取ると
Google マップが開きます

※本資料に掲載のその他の会社名および製品名、ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。
※本パンフレットの記載内容は、2026年1月現在のものです。
※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

お問合せ先 リコージャパン株式会社 山梨支社 TEL 050-3534-4502 担当:佐野 俊之